

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

第1回地域理解校外学習

今年度第1回の「地域理解校外学習」が無事に終わりました。今回は「イスラミック・アート・ミュージアム」の見学と、「ダウ船」の体験をしてきました。美術館には昨年も見学に出かけましたが、パール・エキスポの特別展が行われている期間で昨年以上に見応えがありました。

校外学習の前には出発式を行います。子ども達がみんなウキウキしているのが良く伝わってきます。学校を離れて行う学習に対する子ども達の期待が大きいことをいつも感じさせられます。

スクール・バスに乗ると子ども達だけでほぼ一杯となり、もう1台のスクール・バスが早く入らないかと待ち遠しくなりました。

美術館では、クラスごとに担任の先生と見学をしてまわりました。それぞれに興味を持つ対象が違いますが、メモをとったり写真を撮ったりして、みんなが楽しそうに見学をしていました。

パール・エキスポの特別展



クラスごとに見学のスタート

では、カタールの真珠産業を振り返るコーナーもあり大変参考になりました。2時間の見学時間が、あっという間に過ぎてしまったように感じられるほどでした。

次はダウ船の体験です。まだ乗ったことのない子ども達が多く、これも良い経験になりました。暑い盛りであることと、船酔いの心配をしていましたが、全くその必要はありませんでした。風が涼しいうえほとんど揺れを感じることもなく、気持ち良く船から見る景色を楽しむことができました。

シェラトン・パークでの昼食は、木陰に敷物を寄せ集めてみんなで一緒に食べました。ずいぶん暑くなっていましたが、食後はみんな元気に遊具



中学部の見学風景



ダウ船クルーズ



シェラトン・パーク

で遊んでいました。子ども達のパワーには本当に感心させられます。

今回も実り多い校外学習にできたと思います。事後指導をしっかりと行い、体験の内面化を図ることでより充実させていきたいと思っています。



これからみんなでダウ船クルーズに出発です

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

大切にしてほしい言葉

毎月第2・第4日曜日の朝には全校集会を行っています。私から子ども達への話と、各委員会からの連絡が主な内容です。(写真は委員会発表)

昨日は全校集会の日でした。前回は「ひとつの言葉」という詩を紹介し、言葉の持つ力の大きさとともに1つ1つの言葉を大切に使うしてほしいという内容の話をしました。今回も引き続き言葉について話しました。

まず子ども達に「日本語の中で最も美しい言葉は何だろう?」と問いかけたところ、多くの子ども達の手が挙がり「ありがとう」だと答えてくれました。これはとても素晴らしいと思いました。私もその答えを期待していました。

次に「ありがとう」よりもっと短くて美しい言葉はないだろうか聞いたところ、それはみんな思い当たらなかったようです。そこで私は「はい」という返事がそうであることを話しました。この返事の「はい」が、日本語の中で最も美しい言葉だと指摘されて

いる方もいます。

「はい」という返事が気持ちの良い声で、歯切れ良くできる人はなかなかいないものです。私が高校生の時、国語の先生が毎時間授業の始めに「はい」という返事の練習をさせられたことに触れ、短いからこそ難しく、きちんとした返事ができることはとても大切であることを話しました。

また「ありがとう」という言葉についても考えてみました。ありがとうと言われていやな気持ちになる人はいません。誰でも感謝されると嬉しいものです。ありがとうと言っている人は、その相手を認め尊重しているからこそ言えるのです。つまり、ありがとうという言葉がたくさん交わされている場合は、お互いに相手を大切にしている環境だということです。

そこで最後にみんなにお願いをしました。「ありがとう」という言葉をたくさん使ってほしいことと、「はい」という気持ちの良い返事がいつでもできるようにしてほしいと



生活安全委員会



執行部

いう2つです。これは人間関係を良くしていく上で非常に重要なことです。子ども達の社会性と生きる力にも直接関わってきます。

「はい」と「ありがとう」を大切にし、この2つの言葉がたくさん交わされる学校にぜひしていきたいものだと思います。

今月の「おすすめ本」のコーナー

全校集会で図書太郎委員会から5月の「おすすめ本」が紹介されました。

低学年：「**コックさんは2年生**」

「**100かいだてのいえ**」

中学年：「**クレオパトラ**」「**注文の多い料理店**」

高学年：「**楽しいムーミン一家**」
「**ツエねずみ**」

中学部：「**ちいさいモモちゃん**」
「**こころ**」「**家出 12歳の夏**」



図書太郎委員会



昼食委員会



美化委員会

校長室便り

(文責)

ドー八
日本人学校校長
酢谷昌義

1・2年「生活科授業」のようす

相次いで学校訪問

今週はいろいろな方の学校訪問が続いています。

一昨日は日本人学校への編入学を検討しておられる保護者の訪問がありました。昨日は中国大使を始め中国からの教育関係者総勢8名が視察にいらっしゃいました。そして昨日から今日にかけて、イランのテヘラン日本人学校から2人の先生がおみえでした。

昨年の開校以来、ドー八日本人学校には非常に多くの方が訪問されています。学校としても、基本的にはいつ・どなたが来られても対応できるようにと考えてやってきました。訪問された方には、子ども達の授業の様子をできるだけ見ていただくようにしてきました。また、わずかなことであっても子ども達の学習の成果を、お客様に披露する機会にできればということも考えてきました。

このようにして、これまで学校を訪問されたみなさんの多くが、子ども達の頑張りを高く評価してくださいました。

その場で直接誉めていただいたり、お客様の感想を私から子ども達に伝えたり、そうして少しずつ自信を身につけることにもつながっていたように思います。

今週もみなさんからいろいろな感想をいただきました。まず、子ども達からあいさつをしてくれたのがとても新鮮だったとおっしゃった方がおられます。お客様にあいさつをするのは当然のことですが、それが実践されていることはとても大切なことだと思います。子ども達自身3つの「あ」を意識し、取り組んでいるからだと思います。

授業中に教室を訪問しても、子ども達の集中力があまり途切れないことを誉めてくださった方もいます。これも重要なことだと考えます。誰かが教室を訪問するたびに授業が中断してしまうようでは、お客様があっても教室に案内することはできません。昨年から、特別なことがなければ教室のドアを意図的に開け放して授

業をしてきましたが、その成果もあるように思いました。

その他にもいろいろありますが、客観的な評価や率直な感想をいただけることが何よりだと感じています。いつも一緒にいては分からないことや、見逃してしまいがちなことを指摘してくださるのがお客様です。私達自身を見つめ直す機会にもなる学校訪問を大切にしたいと思います。

保護者会のご案内

先日の参観日の折に提案のありました保護者会についてお知らせいたします。

期日

・5月21日(金)

時間

・午前9時30分から

会場

・ドー八日本人学校講堂

議題

・学校運営理事会保護者代表の選出について

・その他

お忙しいこととは存じますが、なにとぞよろしく願いいたします。

図書室を開放しておりますので、お子様とご一緒にお出かけください。皆様の出席をお待ちいたしております。



中国教育関係のみなさん



テヘラン日本人学校の先生

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

今日もみんなで「こおりおに」

「挑戦」し続けたい・・・

テヘラン日本人学校の先生方と、2日間にわたっているいろいろな話をすることができました。どこの日本人学校も、それぞれに様々な工夫を凝らして、子ども達のために取り組んでおられるのがよく分かりました。

話をしている中で先生方が何度も口にされたのが「ドーハはいいですね～」という言葉です。これは学校のこともありましたが、生活全般のことを比較しての言葉でした。

テヘランの先生は、まずドーハ日本人学校の校舎が大変素晴らしいとおっしゃいました。テヘランは民家を校舎として借り上げているようで、校舎内に運動スペースがあるのがとてもうらやましいということでした。民家を校舎としていのですから、当然体育館はありません。休み時間になるたびに、子ども達が2つのホールを駆け回って遊んでいるのがとても印象的だったようです。

小学部から中学部までの子



今日の朝読書の様子

ども達が、とても仲が良いのはドーハと同じだそうです。テヘランは児童生徒数33名で、同じような小規模校です。子ども達の人間関係が良好なのは、小規模校ならではの特徴だと思いました。

また、子ども達が非常に素直だという点に感心しておられました。表現が難しいのですが、学年が上がると先生や大人に対しとげとげしい態度をとる子どもが出てきます。そうではなく人当たりがいいというか、何となく「ほんわか」とした雰囲気を持っていると、相手をとてもリラックスさせます。これは本当に大切なことなのですが、そうなるためには周りの環境が大きく影響してきます。子ども達からそういうものを感じていただけたとしたら、とても嬉しいことだと思いました。

テヘランでの生活の困難さは、ドーハの気候の厳しさ等と比べてもずいぶん大変だということがよく分かりました。そのことについては触れませ



3・4年生は教室で朝読書

んが、教育についても生活に関しても、いま置かれている環境の中で精一杯頑張ることが何よりも大切だということに改めて考えさせられました。上を見ても下を見てもきりがなく、自分中心に考えてしまうと、とかく不平・不満が出てきます。不平・不満から前向きな考え方は生まれません。

海外で心身共に健康で過ごすためには、何といても「挑戦」する気持ちが大切だと私は教わりました。テヘランの先生方と話す中で、そのことを何度も考えていました。

「家庭訪問」 大変お世話になりました

今週は家庭訪問週間でした。お忙しい中ご協力くださり、ありがとうございました。

子ども達のより良い成長のためには、保護者の皆様と学校の協力は欠かせないものだと考えています。

皆様の学校に対する思いや各ご家庭での様子等、お聞かせいただいたことはこれからの指導に役立てていきたいと思ひます。

今後ともよろしくお願ひいたします。